

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

# とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.39



写真: 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業  
(那珂川町小砂地区)  
—とちぎの元気な森づくり里山林整備事業—

詳細は、P.4を  
ご覧ください!

## ▼特集

- ①とちぎの木を活かす女子の会～木輪～発足♡
- ②そうだ、森の現場を見に行こう。バスツアー開催!
- ③地域提案による里山林整備で人と自然がふれあう場の創出を!
- ④下野市新庁舎内装木質化

## ▼元気な森づくり県民会議だより

木づかい推進部会、森づくり部会、普及・啓発部会

## ▼伝言板

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議  
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内  
連絡先：(028)623-3294



「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、『とちぎの元気な森づくり県民税』により発行されています。

## 特集①

# とちぎの木を活かす女子の会 ～木輪（もくりん）～ 発足♡

全国有数の品質と生産量を誇りながら、認知度がイマイチ・・・の「とちぎの木材」。そんなとちぎの木材の魅力・実力をこれまでにない女性目線でPRするための新たな組織が発足しました。

## — 発足までの取組 —

発起人を中心に平成27年7月から女子会設立の準備を進め、9月には女子会設立の機運を高めるイベントとして「**とち木の女子deトーク会**」を開催し、さまざまな業種・年代の女性に参加いただきました。

トーク会の始めに、山に生育している木が住宅などに利用されていく様子について、それぞれの現場で働く女性から紹介いただき、その後のグループセッションでは、「木の魅力とは?」、「女子会でやりたいこと」などをテーマに意見交換が行われました。普段関わりのない職業の方々が交流し、参加者から「楽しかった～♪」と感想が寄せられる等、女子トークで大いに盛り上がり、今後の活動の参考となる貴重な御意見もたくさんいただきました。



## — 設立総会の開催 —

平成28年2月7日に設立総会が開催され、森林組合や製材工場、建築業など木材に関わる職業の人から、木とは全く関わりのない職業の人、また、最大の消費者である主婦、さらには高校生など、木に興味・関心のある16歳以上の女性48名でスタートしました。

今後は、女性の視点を活かし、とちぎ材のPR方法等の企画・立案や、関係業界への提案、イベント等への参加などの活動を通して、とちぎの木材の魅力・実力を全国へ広めていきます。



～決意表明～

『全国に広めよう とちぎの木』

会の名称にある ～木輪（もくりん）～ に込めた思いのとおり、会員同士が「木」で連携し、輪になって、女性らしく丸く活動していきたいと思っております！

とちぎの木を活かす女子の会～木輪～に関するお問い合わせは、

【事務局】栃木県環境森林部林業振興課木材利用推進班内 TEL 028-623-3277

## 特集②



# そうだ、森の現場を見に行こう。バスツアー開催!

## 一 各地域の奥山林・里山林整備箇所や木の香る支援箇所を巡りました 一

栃木県では、森林を守り育て次の世代へ引き継ぐため、『とちぎの元気な森づくり県民税』を導入し、森づくりを行っています。県民の皆様からご負担いただいたこの『とちぎの元気な森づくり県民税』（個人：年額700円、法人：均等割額の7%）を活用して整備した奥山林や里山林、公共施設の木造・木質化の整備箇所などを巡り、どのような取組が行われているかご覧いただくバスツアーを開催しました。

**主な参加者の声**「どのように税が使われているかよく分かった。」

「森づくりは奥が深い。携わる方々の大変さも分かり良いツアーだった。」

「森林の大切さ、そして木材を利用していきいたいという気持ちが高まった。」

### 県西地区



●開催日 平成27年10月10日（土）

●参加者 10名

●見学先

日光市市内の間伐、野生獣被害防止のネット巻きを実施した森林を見学しました。道中、滝尾神社での樹齢数百年の森で森林浴を楽しみ、日光市猪倉の通学路付近の見通しよく整備した里山林を見学しました。

### 県北地区



●開催日 平成27年11月29日（日）

●参加者 24名

●見学先

那珂川町小砂の里山林（よろこびの森）、那珂川町薬利の奥山林の整備箇所を見学しました。「元気な森で元気に遊んで元気な子供に育ててほしい」等との感想をいただきました。

### 県南地区



●開催日 平成27年10月17日（土）

●参加者 22名

●見学先

小山市神鳥谷の健康医療介護総合支援センターでは内装木質化による木の暖かさを実感し、小山市城東の通学路付近の安全安心のために整備された里山林などを見学しました。

### 県東地区



●開催日 平成27年10月24日（土）

●参加者 26名

●見学先

宇都宮市福岡町の奥山林で、間伐して森林が元気を取り戻した様子を散策しながら見学しました。また、(株)イケダの製材工場を見学し、県産材の良さの話を聞きました。



## 地域提案による里山林整備で 人と自然がふれあう場の創出を!

### — 明るく安全な里山林整備事業を活用した取組 —

栃木県では、荒廃した里山林を整備するため、地域の提案により里山林の価値を掘り起こし、継続的に里山林の維持管理を行っていく取組を支援しています。

今回は、整備した里山林を活用し、子どもや都市住民との様々な交流活動を展開している那珂川町小砂地区「よろこびの森」（事業実施主体：那珂川町林業振興会）の取組を御紹介します。

#### (1) 森林整備等の実施

かつては、棚田とため池及びその周囲にコナラ林が広がる自然豊かな里山でしたが、手入れ不足により荒廃が進行。間伐や刈払いなどの森林整備やため池などの水辺環境の整備により、里山林の再生を図りました。



#### (2) 森林空間を利用した取組

整備した森林内の空間に、展望台やブランコ等の遊具を整備。「生きもの観察会」や「冬の里山体験」など各種イベントを開催し、子どもから大人までが自然の中で遊べる場を創出しています。

那珂川町小砂地区は、「日本で最も美しい村」連合に加盟。2013年に開催されたKEAT（キート）/小砂環境芸術祭では、「よろこびの森」も舞台の一つになるなど、地域活性化の拠点としても活用されています。



展望台などを整備し、子どもから大人までが楽しめる空間を創出！



「生きもの観察会」を開催。ゲンジホタル、イトトンボなどの生息を確認



「冬の里山体験！」  
枝などを利用したクラフトづくりを体験



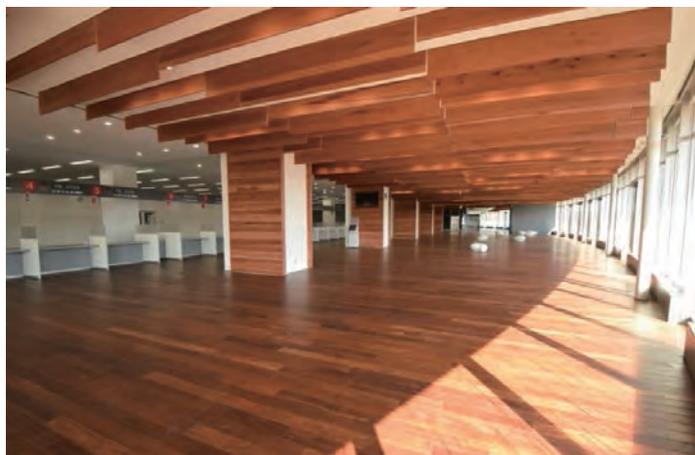
里山全体を美術館に見立てたKEAT（キート）/小砂環境芸術祭とのコラボも実現





## 下野市新庁舎内装木質化

— とちぎの元気な森づくり県民税による、木の香る環境づくり支援 —



下野市では、地域活動拠点となる新庁舎において、来庁者が集中し、また市民開放の計画がある1階ロビーの天井部分を県産材のスギで木質化し、木の優しさを感じる空間を創出しました。

新庁舎建設工事は、計画どおり1月末に完成し、現在は、駐車場整備等の外構工事が進められています。

新庁舎の開庁日は5月6日、木の良さや優しさを感じるため、是非訪れてみてはいかがでしょうか。



### 木づかい推進部会

## 木の教育資材配布事業を実施!

木づかい推進部会では、県内の小学生を対象に、木工工作学習をとおして木の良さを体で感じ、森林への関心や愛着を育み、森づくりの大切さを理解してもらうことを目的として『木の教育資材提供事業』を実施しています。

木工工作学習に必要な資材（木工キット）は、5種類（貯金箱、本立て、飾り棚、小物入れ、プランター）あり、実施した学校からは「本物の木材に触れる機会が少ないので、とても良い機会でした」等と好評を得ています。

学校での実施状況



真岡市立山前小学校



壬生町立東小学校



## 女性のための木工教室を開催！！

### — 平成28年1月16日(土) RADIO BERRY イベントスペースにて —

毎年好評いただいている女性のための木工教室を、1月16日に開催しました。

今回は、会場をRADIO BERRY イベントスペースに変え、「森林の持つ機能・働きについて」の講義後にミニ背付き椅子を作成してもらいました。

講義は、国産材と外材の違いや身近にある木製品の話等、生活に役立つ情報が盛りだくさんな内容で、講義終了後は、皆さん積極的に質問をしていました。

木工工作実習では、講師を囲み、パーツの向きや接着剤の量等を周りの人と確認しながら楽しく作業を進めました。作品が出来上がると、作品に座ってみたり、何を置こうか考えたりと、参加者同士で会話も弾みました。

参加された方からは、是非また参加したい！という声が多数寄せられ、大盛況のうちに終了しました。



○今回の会場となったRADIO BERRY 道沿いにあるため、行き交う人が興味津々に眺めていきます。



○星野工業株式会社の齋藤工場長の話を熱心に聞く参加者。身近な木製品に対しての質問が多数出ました。



○同じようなパーツでも、一つ一つ向きがあります。講師の説明を熱心に聞き、必要なパーツを選び出す参加者。



○完成した「ミニ背付き椅子」 県内で産出された木材（スギ）でできています。

## 森づくり推進部会

### 知っていますか？

## とちぎの“森づくり”とその大切さ

— 様々な方法で森づくり活動をPRしています —

森づくり推進部会では、県民協働の森づくりの大切さを広く県民の皆様にご理解いただくため、様々な方法で元気な森づくりのPRを行っています。

各種イベントや商業施設と連携して出展し、パネル展示やDVD上映、PRグッズ配布、工作体験などにより森づくり活動をPRしています。

また、「10月16日・元気な森づくりの日」を記念して各地で体験型のイベントを開催し、参加者に森づくりの必要性や、森林の大切さについて理解を深めていただいております。



保健環境センター公開デー



林業センター公開デー



エコ・もりフェア



森づくり活動PR



元気な森づくりの日記念イベント（小山市・矢板市）



10月16日「元気な森づくりの日」には、  
県庁や各地の地方合同庁舎で懸垂幕・横断幕を掲示しました。



県庁塩谷庁舎（矢板市）



県庁南館（宇都宮市）

## 普及・啓発部会

# 森のために、できることって…?

## — 様々な働きを持ち、私たちの暮らしに深くかかわっている森林 —

森が元気を失うと、右のような働きを十分に発揮できなくなります。

元気な森をつくるには、太陽の光が行き届くように間伐などの手入れが必要で、『植える→育てる→収穫し、上手に木を使う→また植える』という森づくりの循環を続けていくことが大切です。森のために身近にできることは、「森づくりボランティアに参加」「募金」「木を使う」「森と暮らす」などがあります。

森林の大切さに気づき、みんなのチカラで元気な森づくりを進めましょう！



伝言板

会員登録募集!



「とちぎの森づくり」ホームページ

県の森林・林業に対する取組や各種報告書などの行政情報をはじめ、イベント・講座のお知らせや活動団体の情報、指導者等の人材情報などを提供しています。

森づくり情報を入手するだけでなく、会員登録（無料）することにより、直接、イベント等のお知らせや活動情報などを書き込んで参加者を募ったり、森づくりイベント等の新着情報をメールで一早く入手することができます。

県民の皆さんをはじめ、森づくりやみどりづくりに取り組む学校、森林環境学習関連施設、地域で活動する企業・団体などの森づくり活動を応援するためのサイトです。

とちぎの森づくり |

検索

URL⇒ <http://mori.ecomori-tochigi.jp/>



御活用ください!県政出前講座

「とちぎの元気な森づくり」

栃木県では、「とちぎ県政出前講座」を行っています。県職員が直接出向いて、森林の大切さや森林を県民協働により守り育てていくことの必要性など、分かりやすく「とちぎの元気な森づくり」についての説明を行います。是非御活用ください。

- 対象：概ね20人以上の集会在対象  
(例えば、学校内学習、企業内研修、自治会の集会などで、栃木県に在住・在勤・在学の方が対象です。ただし、営利等を目的とするものは対象となりません。)
- その他：職員の派遣費用は無料です。この講座は、主として県政の説明を行うためのもので、要望や苦情、交渉等を行う場でないことを御理解ください。
- お問い合わせは…栃木県環境森林政策課 (TEL028-623-3294) まで

「とちぎの森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。